

NO.	構成員名	御意見	基本計画における取扱い	関連ページ
1	丹野 構成員  福田 座長	<p>統合新病院は急性期病院であることから、精神科救急は必須だと思う。また、教育病院という観点から研修医が精神科の患者も診なくてはいけないので、精神科救急での入院機能は必須なのではないか。</p> <p>県立つくしが丘病院が精神病患者の入院機能をこれからも担っていくということでの今回の基本計画であると考えことから、統合新病院では精神科の病棟を持たないという理解でよいか。</p>	<p>現時点では、今後も県立つくしが丘病院が精神疾患医療の入院機能を担うこととしておりますが、精神疾患と急性期の身体疾患を併せ持つ患者の治療は引き続き統合新病院で対応してまいります。</p> <p>なお、将来的に県立つくしが丘病院の建替えが行われる際には、精神科救急のあり方や精神科病棟の整備など、統合新病院との役割分担について議論・検討をしてまいりたいと考えています。</p>	P5
2	村上 構成員	<p>ドクターヘリが飛行困難な場合、消防車両に医師を乗せて現場に搬送している。この機会に八戸市立市民病院のようなドクターカー運用ができれば、消防車両が病院まで行く時間も稼げ、即対応でき非常に有利である。</p> <p>また、現場救急を考えれば時間的にもメリットが大きいのではないかと考えている。</p>	<p>第3章部門計画（救急医療部門（救命救急センター））にドクターカーの整備を検討する旨を記載したところであり、今後、関係機関等と協議を進めてまいります。</p>	P30
3	福田座長	<p>小児外科医の確保は、大学病院でも難しく、記載してよいか疑問である。</p> <p>医師を供給する側の大学の教授、診療科長にも意見を聞いていただきたい。</p>	<p>御指摘のとおり、大学の意見等も踏まえ、「小児外科」の記載はせずに、今後の検討課題といたします。</p>	P8

第7回有識者会議における構成員からの御意見の基本計画においての取扱い

NO.	構成員名	御意見	基本計画においての取扱い	関連ページ
4	首藤 構成員	何が起きても、統合新病院は24時間365日絶対に閉まらない病院じゃないと駄目だと思う。(医療機器の入替え、故障などで検査等部門が閉まるということがないようにしなければならない。)	<p>第1章全体計画の施設整備方針において、「災害に強い施設整備」、「感染症への即応力が高い施設整備」を掲げているところです。</p> <p>具体的には、第2章施設整備計画において、点検に伴う計画的な停電や医療機器の入替え等の際には、電気供給体制や他施設との協力体制の構築などを通じて、病院機能を維持できるように検討する旨を記載したところです。</p> <p>また、第3章部門計画（災害医療部門）において、基幹災害拠点病院として、災害発生時にも必要な医療を提供するため、免震構造の採用や燃料の備蓄などを行う旨を記載しており、第3章部門計画（救急医療部門（救命救急センター））においては、統合新病院は、救急患者に24時間365日対応することを基本方針としています。</p>	P3 P18 P20 P28
5	高木 構成員	統合新病院では死亡時画像診断を是非行っていただきたい。	<p>死亡時画像診断の件については、将来の課題としてではなく、現在の課題として捉えております。</p> <p>現在、両病院において、警察等と連携し、対応の要否について検討しているところであり、対応することとなれば、統合新病院においても引き継いでいくものと考えています。</p>	-
6	水木 構成員	研修医に選ばれる病院として、弘前大学に頼るのではなく自立した形で、研修したい、病院に残っていきたくて思ってもらえるような病院作りを進めなくてはいけない。	<p>第1章全体計画の施設整備方針において、「働きやすく魅力ある職場環境の整備」を掲げているところです。</p> <p>具体的には、第3章部門計画（教育・研修機能）において、地域の医療機関等を含めた医療人材を育成するため、十分な教育スペースの確保や研修機能を充実させる等、ソフト・ハードの両面から魅力のある教育環境を整備する旨を記載したところです。</p> <p>当該方針を踏まえ、教育・研修機能の具体的な検討を進めてまいります。</p>	P65
7	水木 構成員	現状では精神科スーパー救急は芙蓉会病院が引き受けていることから、速やかに地域医療連携推進法人を立ち上げて民間医療機関をすぐに入れて、きちっとした関係作りを進めていくべきである。	今後、民間医療機関等を含め、現状等の情報を共有しながら、地域医療連携推進法人の取組の中で整理していきたいと考えています。	P9

第7回有識者会議における構成員からの御意見の基本計画における取扱い

NO.	構成員名	御意見	基本計画における取扱い	関連ページ
8	北島 構成員	医療的ケア児に対する扱いがまだ全然広まってないため、統合新病院でも在宅で診ることも考えていかなければならなくなると思う。小児医療を担当する先生方たちと連絡を取れるようにしていければよい。	<p>第3章部門計画（周産期医療部門（総合周産期母子医療センター））において、統合新病院は、小児在宅支援の拠点として、医療的ケアなどを必要としながら在宅で暮らす児やその家族に対する支援を総合的に行う「青森県小児在宅支援センター」の運営を行うこととしています。</p> <p>小児在宅支援センター運営事業を通じて、在宅医療を実施する医療機関等と連携を図っていきたいと考えています。</p>	P31
9	北島 構成員	統合新病院に在宅診療部を作ったかどうか。	<p>第1章全体計画の統合新病院の診療機能（その他の診療機能）では、統合新病院からの退院後、在宅医療へスムーズに移行できるよう、患者の症状の変化や対応などについての情報共有を図り、在宅医療を実施する病院や診療所等との連携を強化する旨を記載したところです。</p> <p>在宅診療部の設置については、地域のニーズなどを踏まえ、適切に連携していきたいと考えています。</p>	P7
10	納谷 構成員	車椅子を利用する患者の場合には介助者も一緒にいるが、患者の待合室はそのことに配慮したものとなればよい。	第1章全体計画の施設整備方針において、「安全・安心な療養環境の整備」を掲げたところであり、ユニバーサルデザインの採用や機能的な施設配置、スムーズな動線の確保により、誰もが安全・安心に利用できる施設整備に取り組んでまいります。	P3

第7回有識者会議における構成員からの御意見の基本計画における取扱い

NO.	構成員名	御意見	基本計画における取扱い	関連ページ
11	納谷 構成員	血液内科の病棟について無菌病棟の整備と全室個室化を検討するとあるが、骨髄移植ができる部屋が増えるのか。	第1章全体計画の統合新病院の診療機能において、両病院がこれまで担ってきた機能等を引き続き担い、「骨髄移植、臍帯血移植実施機関」の機能等も継承する旨記載したところです。 その機能等を発揮できるよう必要部屋数も含め検討し、病棟を整備してまいります。	P7
12	丹野 構成員	統合新病院は、医療DXの領域において、県内のデジタル医療拠点になって欲しい。	第4章その他の計画（情報システム整備計画）の整備方針（ICT・DX対応）として、医療分野におけるデジタル技術等について関係医療機関等との連携体制を構築するため、ニーズを踏まえるとともに、他県の先進事例等も参考にしながら、関係機関と協議を進める旨を記載したところであり、今後、その方針に沿って対応してまいります。	P73
13	水木 構成員	芙蓉会村上病院では全室個室としており、個室割合を高めると経費負担は大きくなるが感染症対策としても有用であるので、統合新病院の個室割合は3～4割でよいのだろうか。	限られたスペースで病院整備を計画する必要があるため、メリット・デメリットを考慮した結果、個室割合を3～4割としたところです。 なお、第1章全体計画の施設整備方針において、「医療需要の変化や医療技術の進展に柔軟に対応できる施設整備」を掲げているところであり、将来の医療環境の変化に対し、柔軟かつコストを抑えながら、効率的に病院運営できる施設を計画してまいります。	P10  P3